

推薦調書（実装部門）

表彰区分	指定都市・中核市・施行時特例市等	推薦都道府県	長崎県
地方公共団体名	長崎県佐世保市		
取組名称	「スマート・スクール・SASEBO」VISIONの推進		
連携自治体、企業、団体等	なし		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合 の分野）
	教育		
【デジタルを活用した取組の全体概要】 「スマート・スクール・SASEBO」VISIONを推進するため、以下の3つの代表的な取り組みを実施 ①どこでも使えるLTE対応端末の導入 ②教員情報共有ポータルサイト『羅針盤』の創設 ③安心安全を実現する学校通信システムの強靱化 ①LTE端末の導入 Wi-Fi通信ではつながらないグラウンドや体育館、家庭や地域での活動を可能とするため、LTE通信が可能な端末を導入した。端末をどこでも使える環境を整備したことで、子どもたちのICTリテラシーの向上も期待される。 【活動例】 ○屋外にある菜園で、育てている植物を観察。育成の方法を調べるほか、育成の様子を記録し、児童みんなで共有することができる。 ○地域での活動でも端末を持っていくことができ、端末を使って学校の様子を紹介したり、地域の方の話を児童同士で共有することができる。 ②教員ポータルサイト「羅針盤」の創設 1人1台端末を中心としたICTの活用を、先進的に実践する研究指定校を設置、そこで得られた知見を教員みんなで共有するためのインターネットサイトを構築した。また、先進的な取り組みだけではなく、日々の学校生活での悩み事やその解決策も共有することで、ICTスキルの底上げを実現することもできる。 ③学校通信システムの強靱化 学校通信の安全性を向上させるために、フィルタリングソフトの導入を実施したほか、主に校務執行に関するネットワークに関しては、コンピュータウィルスを含め悪意のある侵入者に対応するため、外部ネットワークとの論理的分離を行うための仮想化基盤サーバーの導入を検討したほか、セキュリティポリシーを見直し、学校監査制度等を導入した。 【実施に至る経緯・動機】 令和2年10月に「スマート・スクール・SASEBO構想図」を策定。教育委員会事務局、教育委員、市長、市議会、教員、保護者等の認識の共有、			

	共通理解を図り、大きな社会変容（変革）を想定し、既存の価値観、方法にとらわれずゼロベース、全方位、多角的視点をもって、1人1台端末を最大限活用するためのICT環境の整備、推進体制の構築を図ることとしたもの。 【解決する課題の具体的内容】 ①すべての子どもが、学校や家庭で存分に1人1台端末を活用できる環境をつくる。 ②すべての子どもが、学びにおける制約から解放される。 ③個別最適化された学びを実現することができる。 ④新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成することができる。
デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）	○毎日授業でICTを活用している教師の割合 92%
本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	○「スマート・スクール・SASEBO構想図（VISION）」を作成し、関係者の認識の共有、共通理解の推進を図った。 ○関係する職員全員を、本来業務と兼務させる形で「スマート・スクール・SASEBO推進室」の一員とし、迅速な意思決定と、関係部署との連携強化を実現した。 ○学校における情報関係政策のマスタープラン「教育の情報化推進計画」を策定することで、設備投資や体制の構築などを迅速に行うことができた。
今後の展望	①官民ともに新たに開発されるコンテンツを、正しく適切に選択し、授業の改善等に繋げていく。 ②子どもたちだけではなく、保護者、地域住民とのコミュニケーションにもデジタルを活用していく。今後、拡大するコミュニティスクールの活動にも、貢献するようなシステムの構築を目指す。 ③子どもたちの情報リテラシーを向上させるため、安全性に十分配慮した子どもたちが自ら情報発信を行える場を構築する。 まずは、市立学校の児童生徒のみを対象にしたポータルサイト『キラっ都させぼエデュポータル』を立ち上げ、教員の目が行き届く範囲で、自由な情報の発信を促していく。 ④不登校児童生徒を対象とした、インターネットを通じて授業等を行う『ネット適応指導教室』を開設する。

背景

学校教育における大きな社会
変容(変革)に立ち向かうため、

ゼロベース

全方位

多角的視点

により1人1台端末を最大限活用
するためのICT環境の整備、推進
体制の構築を図る必要がある

課題

- **すべての子どもが、学校や家庭で**
存分に1人1台端末を活用できる
- **すべての子どもが、学びにおける**
制約から解放される
- **個別最適化された学び**を実現
することができる
- **新しい時代を生き抜く創造性や**
社会性を育成することができる

対策

GIGAスクール実現のための特命組
織(スマート・スクール・SASEBO推
進室)を立ち上げ、子どもの学習用
端末整備だけではなく、子どもに教
える**教員のICT能力向上**、安心して
端末を使用できるようにするための
セキュリティの整備までを総合的に
構築する。

取組内容



LTE端末により、いつでもどこ
でも学習ができるようにし、災
害時も子どもの学びを止めな
い環境が実現

支える

教員同士の知見を共有するサ
イト(羅針盤)を構築し、**先進的**
な取組だけではなく、**悩み事・**
解決法を共有することで、教
員のICT能力を向上

支える

セキュリティ強化により児童生
徒、教員が**安心してICT機器**
を使える環境を整備

支える

1人1台端末を導入・運営する
際の**組織上の課題**を解決

R4実施

キラっ都させば
エデュポータル

子どもたちが自ら情報
収集・情報発信できる
ポータルサイトの構築

学校・家庭等
連絡システム

学校と家庭・地域がオ
ンラインでコミュニケー
ションをとることがで
きるシステムの導入に
より、コミュニティス
クール活動に貢献

ネット適応
指導教室

不登校児童生徒を対象
とした、インターネット
を通じて授業等を行う

成果

92%

授業でICTを活用している教員の割合
(令和4年2月現在)

特徴

- 「スマート・スクール・SASEBO
VISION」を作成 → 関係者の認識の共
有、共通理解の推進
- 関係する職員全員を、本来業務と兼務
させる形で「スマート・スクール・SASEBO
推進室」の一員とし、迅速な意思決定と、
関係部署との連携強化を実現
- 学校における情報のマスタープラン「教
育の情報化推進計画」を策定することで、
設備投資や体制の構築などを迅速に行う
ことができた。